

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	マルクスコラ余戸教室			
○保護者評価実施期間	2025年 10月 1日 ～ 2025年 10月 30日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	56名	(回答者数)	21名
○従業者評価実施期間	2025年 10月 1日 ～ 2025年 10月 30日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数)	5名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 10月 31日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	【強み】 ・専門性を踏まえた個人対応 ・各利用者が取り組みに集中できる環境設定	・対象のご利用者に合わせて個別対応（時間設定＋ツール開発など） ・保護者様や各関係機関との情報共有	・対応職員が属人的にならない、異動や配置変更の場合でも継続して対応できる体制作り
2	【強化】 ・中高生など、進路を具体的に考えられる機会	・年間スケジュールを立てて、見通しをもって将来を具体的に考えられる機会創出	・卒業生やスタッフなど、社会人の「生の声」を聴ける機会を作る
3	【充実】 ・「社会情勢」や「多様性」にフォーカスした取り組み	・AIを活用したプログラムの導入＋展開	・就労自立をイメージしたプログラムの中で「道徳観念」に重きを置いたプログラム提供

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	【弱み】 ・医療、保育関連との連携	・連携に向けて動いているものの、必要性を相互に感じられず、一方的になっている	・相手側にもメリットが感じられるための企画＋準備＋提案が必要
2	【課題】 ・自教室の展開する活動に「地域を誘致する」形での連携活動	・実施可能な時間帯や人数、場所、費用に纏わる課題が最も大きな要因となる	・上記項目同様
3	【改善】 ・各種研修の充実	・日々の療育に目が向き、各種研修が二の次になっている現状	・年間でのスケジュールリングと徹底した実施に向けた報連相の体制構築